

## 2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	電磁シールド品質検討小委員会		主 査 名：木村 健一 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (電磁環境運営委員会)		委員長名：岩田 利枝 主 査 名：川瀬 隆治
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電磁シールド室の品質に関して、仕様や維持管理も含めた検討を行い、同分野の技術的支柱となる文章をまとめる</li> <li>・2016 年度 電磁シールド品質の現状調査</li> <li>・2017 年度 目次検討、作成</li> <li>・2018 年度 ドラフト作成</li> </ul>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：なし 主査：木村健一（フジタ）、幹事：小熊直樹（大林組）、委員：吉野涼二（環境調査事務所）、安藤一宏（鹿島環境サービス）、田代英太（波動システム）、西村俊哉（日本板硝子環境アメニティ）、遠藤利明（巴コーポレーション）、福田光宏（トーキン EMC）、菊池真人（技研興業）、山根俊博（清水建設）、鈴木宏和（熊谷組）		
設置 WG (WG 名：目的)			
2018 年度予算	5,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 技術書の発表形式の検討 ⇒実施体制などから、当初の AIJES 作成から技術的文章へ変更した 2. 電磁シールド室の劣化の現状調査及び AIJ 大会発表実施 ⇒測定や調査などは実施済みだが、検討とまとめが未達
委員会活動の問題点・課題	1. 技術書の作成に向けた条件整備 2. 行うべき作業の適正な分担 3. 行ったまとめと検討を踏まえたとりまとめ発表を次期 2 年間で行う

## 2018 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・**最終年度評価**)

総合評価 (4 段階評価)	A	B	C	D
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>技術書の発表形式について、実施体制などから、当初の AIJES 作成から技術的文章へ変更した。電磁シールド室の劣化の現状調査及び AIJ 大会発表実施済みだが、検討とまとめが未達であった。 以上のことより、次年度から新たに 2 年間の活動を行うこととしたい。</p>			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。